2023 年 3 月 6 日

横浜ゴム、競泳の池江璃花子選手とパートナーシップ契約を締結
横浜ゴム所属選手として新社会人をスタート

横浜ゴム（株）は 2023 年 4 月 1 日より、競泳・池江璃花子選手とのパートナーシップ契約を締結します。

池江選手は日本が誇る競泳トップ選手のひとりであり、これまでに数々の輝かしい戦績を残しています。今年 3 月に大学を卒業し、世界的な大会での勝利に向けて挑戦し続けています。また、横浜ゴムも「自らを鍛え、自己ベストに挑戦する」ことを行動指針に掲げ、グローバルプレイヤーとしてさらなる成長に挑み続けています。

今回、横浜ゴムは新たな夢に向かって挑戦し続ける池江選手の姿に深く共感し、サポートすることを決定しました。

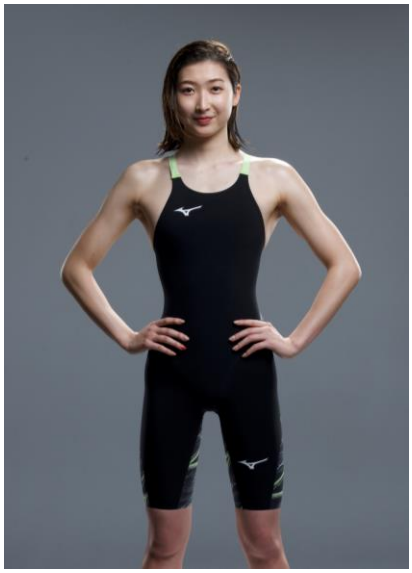
今後、池江選手は横浜ゴムの所属選手として様々な大会に出場する予定です。当社は池江選手の夢の実現と、グローバルな舞台での挑戦を支えていきます。また、アスリートとしてのサポートにとどまらず、社会人として新たな世界を歩み始める池江選手を支援し、当社の様々な活動に参加いただく機会を提供します。

■池江璃花子選手コメント

元々、自分も世界のトップにいましたが、病気をしてしまいました。それでもまたいつか、長い時間をかけてでも世界の舞台でトップとして戦いたいという気持ちを今も持ち続けています。横浜ゴムの社員の方々にお会いした際に、世界を相手に自分たちが奮闘してトップに行きたいという気持ちがあると伺い、その想いに強く共感しました。グローバルな企業というところも惹かれたポイントです。何年もかけてじっくりトップを目指して上がっていこうとしている企業の一員となり、私も一緒に上を目指して頑張っていきたいと思っています。

横浜ゴム株式会社
THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD.
〒254-8601　神奈川県平塚市追分 2 番 1 号
2-1 Oiwake, Hiratsuka City, Kanagawa Prefecture 254-8601, Japan

■池江璃花子選手プロフィール



2000 年東京都江戸川区生まれ、22 歳、171cm。
水中出産で産まれ、3 歳から水泳を始める。
5 歳の時には自由形、背泳ぎ、バタフライ、平泳ぎの 4 泳法すべてで 50m を泳げるようになり、2014 年 3 月の第 36 回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会（13～14 歳区分）では、50m・100m 自由形で短水路中学記録を更新して優勝。50m バタフライでも優勝を飾った。
2014 年の第 90 回日本選手権水泳競技大会では、50m・100m 自由形、50m バタフライに出場。すべての種目で中学生として唯一決勝に進んだ。
16 歳で初出場となった、2016 年の第 31 回オリンピック競技大会（リオデジャネイロオリンピック）では、7 種目に出場を果たし、100mバタフライでは 5 位に入賞。

2017 年の第 93 回日本選手権水泳競技大会では、女子史上初となる 5 冠を達成し、2018 年の第 94 回日本選手権水泳競技大会では出場した 4 種目で計 6 個の日本記録を更新。
同年に行われた第 18 回アジア競技大会では史上初となる 6 冠を達成し、大会最優秀選手（MVP）に選出された。
2019 年 4 月からは日本大学に進学。
2021 年の第 97 回日本選手権水泳競技大会では 50m・100m のバタフライと自由形計 4 種目で 4 冠を達成。
オリンピック 2 度目の出場となった第 32 回オリンピック競技大会（東京オリンピック）では、リレー3 種目に出場し、女子 4×100m メドレーリレーでは決勝進出を果たす。

■横浜ゴムについて

1917 年に創業した横浜ゴムは、乗用車用、トラック・バス用や建設・産業車両、農業機械用などあらゆるジャンルのタイヤ商品をはじめ、工業品や航空部品、海洋商品、ゴルフ用品など多様な商品を生産販売しています。現在は中期経営計画「Yokohama Transformation 2023（YX2023）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーサン）に取り組んでおり、売上収益 1 兆円企業の実現に向けた挑戦を続けています。また、サステナビリティ経営を事業を強化する実際的な事業戦略のひとつとして捉え、環境・社会課題解決への貢献やコーポレートガバナンス強化などを通じて持続的な企業価値の向上を図っています。

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）経営企画部　広報室　担当：山崎、池田
TEL：0463-63-0414　FAX：0463-63-0552